大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	大阪市西区千代崎3－2－95	電話 大阪 06 (586)3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2－2－19	電話 堺 0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市藤の里町39－6	電話 高槻 0726(71)0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2－3－17	電話 河内 0729(62)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1－8－2	電話 神戸 078(360)3100	〒650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話 京都 075(231)8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2－4－1	電話 奈良 0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1－5	電話 和歌山 0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4－8	電話 姫路 0792(85)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6－57	電話 豊岡 0796(23)2221	〒668
湖南支社	草津市追分町字荒堀680－1	電話 草津 0775(62)5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町12－11	電話 彦根 0749(22)3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3－4	電話 長浜 0749(62)7171	〒526
本社・ガスビル サービスセンター	大阪市中央区平野町4－1－2	電話 大阪 06 (202)2221	〒541

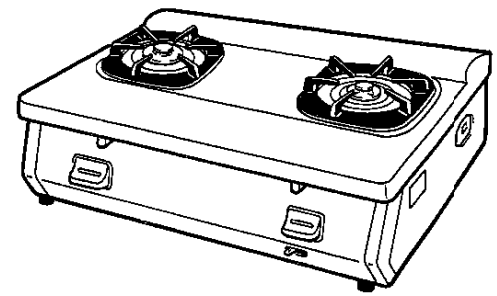
大阪ガス株式会社

01.08.(99)

ガステーブルコンロ
10-944/945型

型式名 RTS-2HE-L
RTS-2HE-R

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

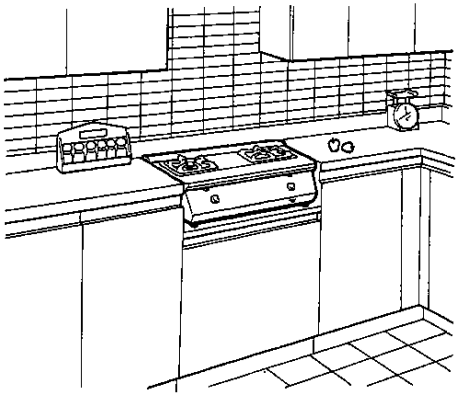
このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロを
お求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保管してください。

もくじ

- 特長・機能のご紹介……1
- 必ずお守りください……2・3・4
- 各部のなまえとはたらき……5
- 器具の設置……6・7・8・9
- 使いかた……10・11・12・13
- 点検・お手入れ……14・15
- 故障かな?と思ったら……16
- 寸法図……17
- 仕様……18
- 保管とアフターサービス……19
- 別売部品のご紹介……20

特長・機能のご紹介



●お料理上手なチャオが
シンプルデザインで
リフレッシュ//

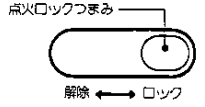
●操作はカンタン/
指先で軽~く
ワンプッシュ//

●超トロ火機能付(チャオバーナー)

4800 kcalの強火バーナーで炒めものをシャキッと仕上げたり、湯を早く沸かすのに便利です。また弱バーナーは300 kcalの超トロ火まで絞れます。

●点火ロック付

ロックの位置にすると点火操作ができない安全機構になっています。



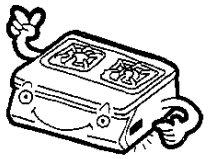
●一つのボタンで点火・消火ができます。

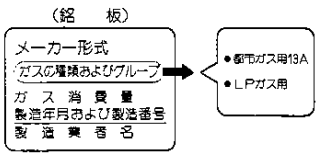
ボタンの点火・消火状態がひと目で分かる機構になっています。

必ずお守りください

●ガスの種類を確かめる

・本体右側面にはってある銘板のガス以外では使用しないでください。





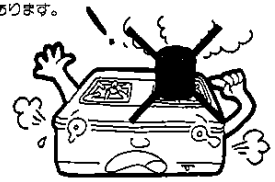
・転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用場所について

・強い風の吹き込むところでは使用しないでください。
・カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
・棚の下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。

●用途について

・調理以外の用途（炭・練炭おこし・衣類の乾燥など）には使用しないでください。
過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。



●市販の補助用具について

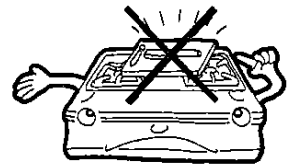
・極端に大きな鉄板や鍋、熱を逃がさないようにするための鍋枠などは、使用しないでください。不完全燃焼をおこしたり、器具の異常過熱の原因になります。

・市販のアルミはく製しる受け皿を敷いて使用しないでください。アルミはく製しる受け皿を使用しますと、異常過熱したり、不完全燃焼の原因となり危険です。

ガスモレ・やけど・火災故障などを防ぐために

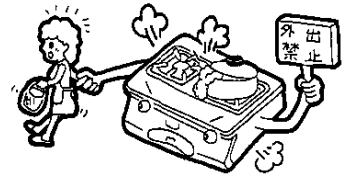
●火災予防について

・器具の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。



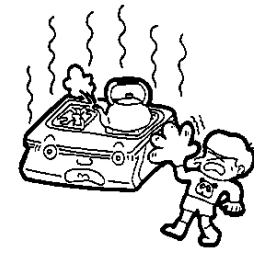
●使用中の外出について

・火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。
・天ぷらなど油料理の場合は、火をつけたまま場所を離れたり、加熱しすぎないようにしてください。



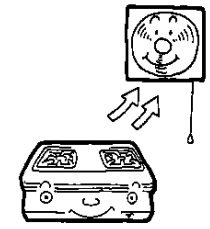
●やけどの注意

・使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、操作ボタン以外はさわらないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



●換気について

・ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気にご注意ください。



●ガス事故防止

・お出かけやおやすみになるときは、ガス元栓を必ず閉じてください。

・ひび割れしたり、差し込み部がゆるんだゴム管は必ず取り替えてください。(古くなったゴム管は取り替えてください。)

・ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉じ、窓や戸を全部あけて、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。

・万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたりしないでください。(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど)
火や火花で引火し、爆発事故などをおこすことがあります。

●異常時の処置

・ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときにはそのままお使いにならず、ただちにご使用を中止(器具栓、ガス元栓を閉止)してじゅうぶんな点検をお願いします。
〔故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください。〕

●日常の点検・お手入れ

・器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。
(詳しくは14ページをお読みください。)

・故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

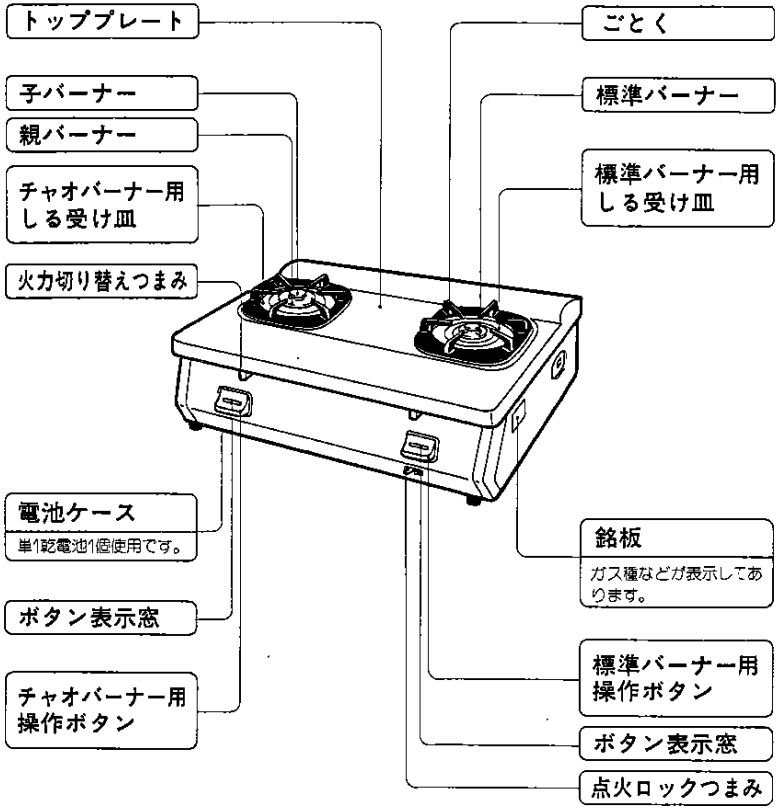
・万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。

●長期間使用しない場合

・乾電池を電池ケースより抜いてください。(乾電池の液もれにより、器具をいためることがあります。)

・各部の汚れを取り除き、じゅうぶんに乾燥したのちほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。
特にガスの通路部分(ホースエンドなど)にはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

各部のなまえとはたらき



※図は10-944型の場合です。10-945型の場合はこんろのバーナーや操作ボタンの配置が左右逆になります。

器具の設置

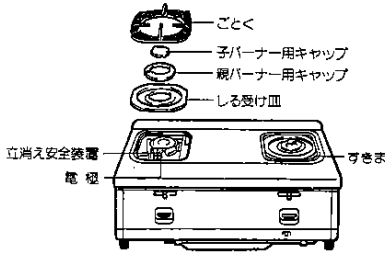
設置前の準備と確認

・各部分のあて紙や包装部品を取り除き、"各部のなまえとはたらき"のように正しくセットしてください。

・器具銘板のガス表示（ガスグループ）とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

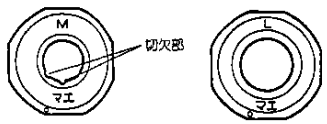
●部品の取り付け

・トッププレートの上にしる受け皿をのせてください。

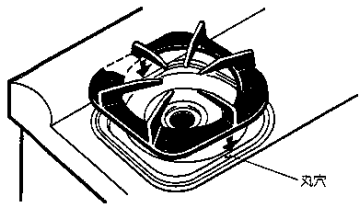


標準バーナー用しる受け皿は、切欠き部2箇所と立消え安全装置・電極を合わせます。チャオバーナー用しる受け皿は、マエの刻印を手前に合わせます。しる受け皿は、内側の穴の大きい方（L刻印）がチャオバーナー用、小さい方（M刻印）が標準バーナー用です。

標準バーナー用しる受け皿　　チャオバーナー用しる受け皿



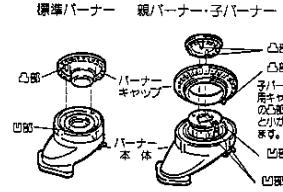
ごとくのツメをトッププレートの丸穴にあわせガタつきのないように差し込んでください。

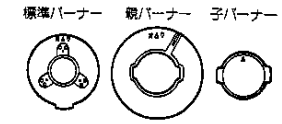


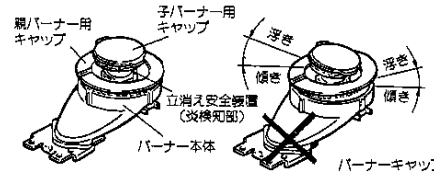
ご注意　・トッププレートとしる受け皿の間にすきまがありますが、これは燃焼に必要な空気を取り入れるためです。ふさがないようにしてください。

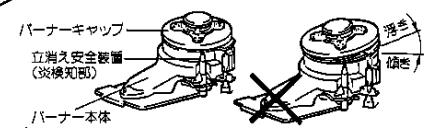
・こんろバーナーキャップ

1．バーナーキャップはギザギザが下になるようにはめ込んでください。
2．バーナーキャップの浮き、傾きのないようにバーナーキャップの凸部がバーナー本体の凹部に入るように正しくはめ込んでください。
3．バーナーキャップは親バーナー用、子バーナー用、標準バーナー用の3種類ありますので間違えないように取り付けてください。
4．取り付けの際はバーナーキャップ上面の▲印を目安にしていただくと取り付けが簡単です。（▲印を後側にしてください。）





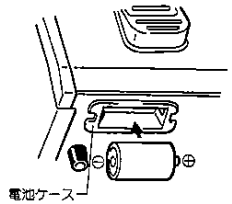




・乾電池の取り付け方

電池ケースは器具前面左下にあります。
⊕⊖の方向を確かめて乾電池をセットしてください。

乾電池が消耗してきますと点火しにくくなります。「パチパチ」という放電間隔が長くなりましたら早目に新しい乾電池にお取り替えください。
乾電池は単1－1.5Ｖ、1個使用です。



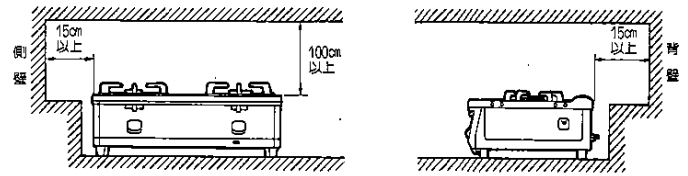
設置上のご注意

・丈夫で水平なガス台に設置してください。

・耐久性などの点からできるだけ湿気の少ないところを選んでください。

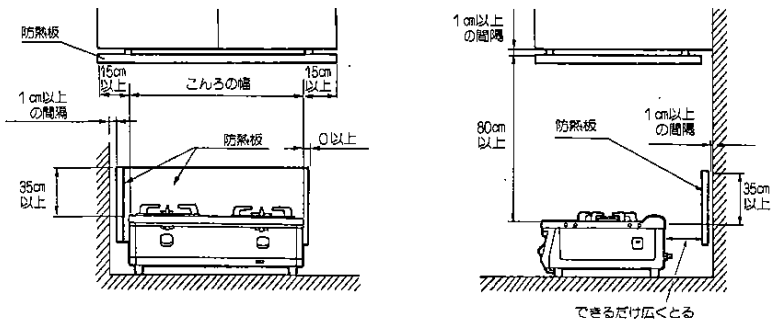
●周囲に可燃物(木製の壁、たなど)のある場合

・トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃性の壁から15 cm以上離してください。可燃性の壁にステンレス板などを張ってある場合も同様です。また、上部は器体上面から100 cm以上離して使用してください。(但し、不燃性の場合は80 cm以上) ……火災予防条例で定められております。

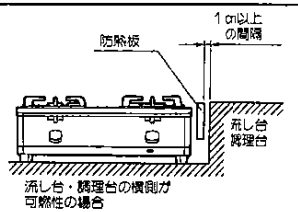


●可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15 cm以上、また、上部は器体上面から100 cm以上離して設置できない場合

・図のように必ず別売の防熱板(コードNo.15-100-0084, 85)を取り付けて使用してください。



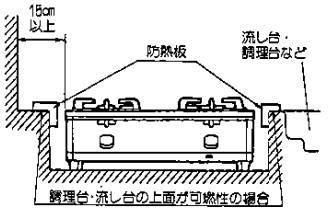
・調理台・流し台の側面が可燃性で、器具のトッププレートより高い場合も図のように防熱板を取り付けてください。



流し台・調理台の横側が可燃性の場合

●調理台、流し台などの上面が可燃性で、器具のトッププレートとほぼ同じ高さにある場合

・可燃性の壁から15 cm以上離して設置することができる場合も、防熱板で調理台、流し台の上面を保護してください。(特にチャオバーナー側に注意してください。)



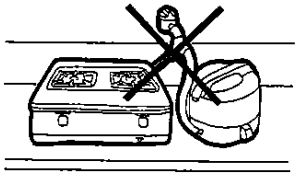
調理台・流し台の上面が可燃性の場合

●ゴム管の接続

・ゴム管はホースエンドの赤線まで差し込んでしっかりと止めてください。

・9.5 mm φ (内径9.5 mm) のゴム管を使用し、お部屋のガス元栓、器具のホースエンドとも赤線までじゅうぶん差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止めてください。

・ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かくし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。

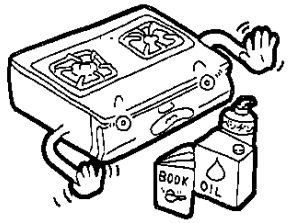


・ゴム管の継ぎたし、および二又分岐はしないでください。

使いかた

●操作前の準備と確認

1 器具周囲の確認



・器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。

2 ガス元栓を開く

・開く前に操作ボタンが「消火」の状態であることを確認してください。
・点火ロックがロックされているときはロックを解除してください。
※点火ロック操作は 12 ページを参照ください。

●点火操作

1 操作ボタンを押す

・操作ボタンは、止まるまでいっぱいに押し込んでください。

2 操作ボタンを押し続ける

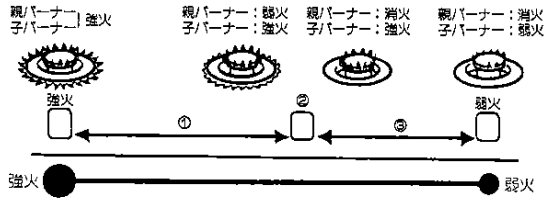
・バーナーへ火移りしたことを確かめてから、数秒間（立消え安全装置が加熱されるまで）そのまま押し続けます。
・ボタン表示窓は「赤色」がでます。

ご注意
・万一点火しないときは、操作ボタンを一旦消火の状態に戻してからあらためて点火の操作をしてください。
・はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は、空気が抜けるまで操作ボタンを押しつづけてください。

●火力調節

1 親子バーナー

・親バーナーは①の間で調節してください。
・子バーナーは③の間で調節してください。親バーナーは消え、子バーナーのみになります。
・強火から弱火への操作の場合、②で「カチッ」と音がして親バーナー：弱火、子バーナー：強火になります。また弱火から強火への操作の場合は、②で「カチッ」と音がして親バーナー：消火、子バーナー：強火になります。

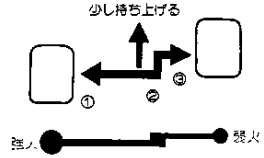


2 標準バーナー

・火力切り替えつまみを「強火」と「弱火」の間でゆっくり操作してください。

・強火から中火までは①から②の間で調節できます。②の位置で火力切り替えつまみはストップします。

・中火から弱火までは②から③の間で調節できます。②の位置で火力切り替えつまみを少し持ち上げスライドさせ、中火から弱火の火力調節をしてください。



ご注意
・火力調節するときは炎の確認をしながらゆっくり操作してください。

●消火操作

1 操作ボタンを押す

・操作ボタンは、止まるまでいっぱいに押し込んでください。

※操作ボタンは確実に最後まで押し切ってから手をはなし、火が完全に消えたか確認してください。ボタン表示窓の「赤色」が消えます。

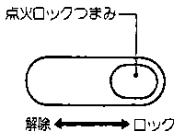
※お出かけやおやすみ前には、ガス元栓を閉じてください。

●ロック操作

・点火ロックつまみをロックの位置にすると点火操作ができない安全機構になっています。
点火するときは点火ロックつまみを解除の位置にスライドしてください。

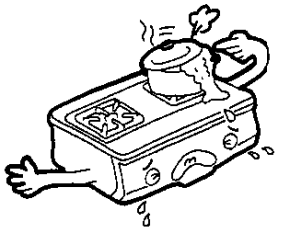
・小さなお子様がおられるご家庭などでは、使用されないときは安全のために ロックしてください。

※点火ロックつまみは左・右こんろともすべてが消火の状態で操作してください。一つでも点火の状態にあるとロック操作ができません。

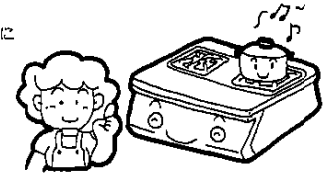


使用時のご注意

・煮こぼれは器具を早くいためますのでご注意ください。煮こぼれで炎口がつまると炎が逆流して、器具の内部で燃えるおそれがあり危険です。



・点火の際は、こんろに鍋やヤカンをかけて点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。



立消え安全装置について

・立消え安全装置は、煮こぼれや風などで火が消えたときにガスを自動的に止める装置です。
・バーナーに点火したことを確かめてから、数秒間そのまま押し続けてください。
（立消え安全装置が加熱されるまで）

※点火がしにくくなったら乾電池が消耗していますので、新しいものとお取り替えください。

安全装置が作動したときの処置方法

・使用中バーナーが消火したときは、すぐに操作ボタンを押し、消火の状態に戻してガスを止め、さらにお部屋のガス元栓も「止」の状態に戻して16ページの「故障かな？と思ったら」および、つぎの方法により処置してください。

●処置方法

・バーナーの炎が消えたときには、立消え安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、完全に止まるまで少し時間がかかります。（30秒～1分程度）
バーナーの消火に気づいたときは、すぐに操作ボタンを押し、消火の状態に戻してください。
・再点火されるときは、周囲に生ガスがなくなるまで少し（約1分）待ってから「点火操作」に従ってください。

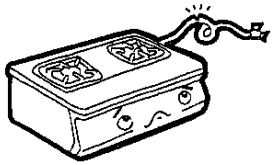
点検・お手入れ

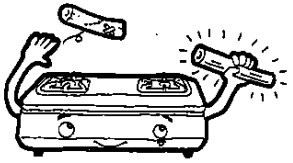
●日常の点検

1 ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか？

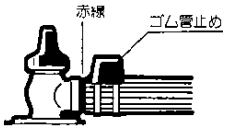
・ゴム管や接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。

・ひび割れたり、差し込み部がゆるんだゴム管は、必ず取り替えてください。





・ゴム管が器具・ガス元栓ともホースエンドの赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。



2 付属品が正しくセットされていますか？

・バーナーキャップ、ごとく、しる受け皿などは正しくセットされた状態でお使いください。

3 つまり、たまり、汚れはありませんか？

・バーナーキャップの炎口が煮こぼれなどでつまっていませんか。

・立消え安全装置の先端が、煮こぼれなどで汚れていませんか。

ご注意
・テーブルコンロを安全に長くご使用いただくために日常の点検、お手入れを必ずおこなってください。
・日常の点検・お手入れの際にはガス元栓を閉じ、器具がじゅうぶん冷えてからおこなってください。

●お手入れ

1 ごとく・しる受け皿

・中性洗剤をふくませた、スポンジタワシなどのやわらかいもので洗います。

・洗ったあとは水洗いをし、乾いた布でじゅうぶん水気をふきとってください。

2 トッププレート・器体（前面は除く）

・液状の洗剤を布にふくませて汚れを落し、お手入れ後はよくしぼった布で洗剤や水気をじゅうぶんふきとってください。

※トッププレートはホーローですので金属片、金タワシなどでこすらないでください。また固い物を当てたりしますと傷がつく場合があります。

※器体前面の汚れは湿った布でふきとってください。

3 こんろバーナー

・バーナーキャップを取りはずし、ブラシやキリ状のものでおそうじしてください。

・目づまりなどで悪くなったバーナーは、取り替えていつもきれいな状態で使用してください。

※バーナーキャップの水洗いはできるだけさけ、水洗いされた場合は、必ず乾いた布でじゅうぶん水気をとっておいてください。

※バーナーキャップは親バーナー用、子バーナー用、標準バーナー用の3種類ありますので間違いのないように取り付けてください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、修理・サービスをお申しつけになる前に一度つぎのことをお調べください。

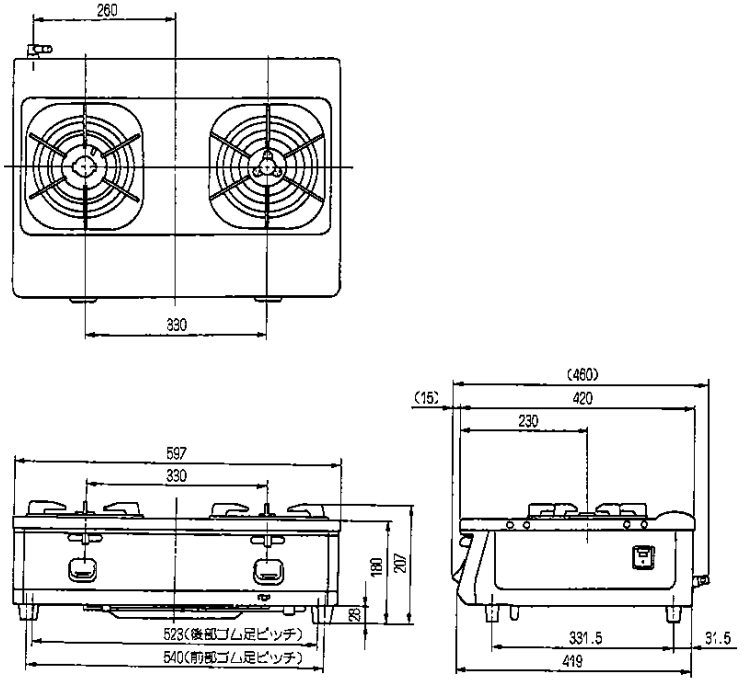
こんなとき（現象） / お調べいただくこと（原因）	操作ボタンから手を離すと消火する	点火しない・点火しにくい	火移りしにくい	黄炎で燃える	炎が安定しない	異常な音をたてて燃える	使用中に消火する	ガスまたはいやなにおいがする	処置方法	参照ページ
ガス元栓の開き不十分		○	○				○		ガス元栓を全開にする	10
ゴム管の接続が不完全		○						○	ゴム管を確実に接続する	9
ゴム管内に空気が残っている		○	○						点火操作をくり返す	10
ゴム管の折れ曲り・つぶれ		○	○				○		ゴム管の折れ、曲りを直す	9
ゴム管のひび割れ・穴あき								○	ゴム管を交換する、先を切りつめる	14
バーナーの炎口づまり	○	○	○	○	○	○	○		バーナーの手入れをする	15
バーナーキャップの浮き	○	○	○	○	○	○	○	○	正しくセットする	7
器具栓・点火装置の故障	○	○						○	点検・修理を依頼する	−
器具の銘板と使用ガスの不一致	○	○	○	○	○	○	○	○	点検・修理を依頼する	2
電池が消耗している		○							新品と交換する	7
電池の取り付けが悪い		○							正しく取り付ける	7
立消え安全装置が作動	○						○		「点火操作」参照の上、正しく操作する	13
立消え安全装置の故障	○						○		点検・修理を依頼する	−
点火操作が適切でない	○	○							「点火操作」参照	10

このほかに異常があるときやおわかりにならないときは、お買い求めの販売店
またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

ご注意 不完全な処置は事故のもとになりますので、絶対にお客さまご自身で修理なさらないでください。

寸法図

（単位：mm）



仕様

品名	ガステーブルコンロ				
品番	10—944型	10—945型			
型式名	RTS—2HE—L	RTS—2HE—R			
点火方式	連続放電点火				
外形寸法	高さ180㎜(トッププレートまで)×幅597㎜×奥行460㎜				
重量(本体)	8kg				
安全装置	熱電対式立消え安全装置				
使用ガスの種類 ガスグループ	1時間当りのガス消費量				ガス接続
	個別ガス消費量			全点火時ガス消費量	
	親バーナー+予バーナー	予バーナー	標準バーナー		
都市ガス13A (kcal/h)	4,800	950	2,300	6,900 (0.66㎥/h)	内径9.5㎜ガス用ゴム管
LPガス (kg/h)	0.35	0.075	0.176	0.53	
付属品	乾電池単1(1個)				

保管とアフターサービス

●保管(長期間使用しない場合)

・ガス元栓を閉じてください。
・乾電池を電池ケースより抜いてください。
(乾電池の液もれにより、器具をいためることがあります。)

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

・サービス(点検・修理)を依頼される前に
「故障かな?と思ったら」(16ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
・ご連絡の際には次のことをお知らせください。
1.品名……ガステーブルコンロ
2.品番……本体の左側面に貼付してあります。

例

(N)10-944(U)
大阪ガス株式会社 03

3.故障、異常の現象……できるだけ詳しく
4.お客様名、住所、電話番号

転居されるとき

・ガスには都市ガス13種類、およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

・保証期間中は…
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
・保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後6年間です。

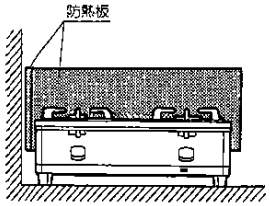
別売部品のご紹介

つぎの様な別売部品を用意しています。
もよりの大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス支社でお求めください。

●防熱板（コードNo.：15-100-0084, 85）

・設置場所で、可燃性の壁（ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。

※後用　15-100-0084型
　横用　15-100-0085型



●掃除ブラシ

(4) 94-100

・バーナーが目づまりしたときに掃除していただくと安定した燃焼が得られ、効率よく安心して使っていただけます。

●ちり受け皿

(4) 15-100-0080

・器具の下、ガス台の上に設置してください。器具の下に落ちた煮こぼれはちり受け皿の上に落ちます。ときどき取り出して掃除していただくと、ガス台を汚さずに使用できます。

MEMO

おねがい　ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。